



## 総会

5月22日（金）、地区協総会を開催しました。

総会では、昨年度の事業・決算報告や今年度の事業計画・予算などを審議し、今後の活動方針を確認しました。総会後の懇親会には役員や運営委員、各団体の皆さんのほか、今年度着任した田口副校長先生、前副校長の吉沢先生にもご参加いただき、交流を深めました。和やかな雰囲気の中で地域の課題や今後の活動について意見交換を行い、有意義な機会となりました。今後も地域の皆さんと協力し、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。



## 懇親会

# 納涼まつり

2026  
7月24日(金)

～25日(土)

17:30～20:30

@八雲台小学校

地区協



まごじば

当たったら景品  
はずれても駄菓子！



地区協に協賛出店し、売り上げは地区協の事業費とします

八雲台小学校開放運営委員会主催の「納涼まつり」で出店します！

誌面作成：千坂真衣 江端早奈江

八雲台小学校地区協議会



# つながる誌

発行：八雲台小学校地区協議会 会長：添田光威  
yagumochikukyo@docomo.ne.jp

2026

7月

VOL.15

## 地域を守る、情熱の50年 八雲台の安心・安全を支える渋川弘さんの想い

長年にわたり、八雲台地域の防犯活動や自治会活動に尽力されてきた渋川弘さん。地区協や、協働関係にあるPTAでも、交通事故や不審者情報が入るたびに相談に乗ってくださったり、警察との橋渡しをしてくださったりと、さまざまな場面で支えていただいています。

地域への深い愛情を胸に、長年活動を続けてこられた渋川さん。その歩みや活動への思い、そして未来を担う子どもたちや地域への願いについて、お話を伺いました。

### Q&A：一問一答で知る、地域活動の軌跡

Q：地域活動に関わるようになったきっかけは何だったのでしょうか？

渋川：調布警察との付き合いはもう50年ほどになります。最初はわが子で健全育成委員会に関わったのが始まりでした。柔道や剣道を教えたり、合宿を行ったりしました。親元を離れた合宿で、子供たちが「自分で何かしなければならない」という自覚を持ち、精神的に成長していく姿を目の当たりにしたことが、活動の原点ですね。

Q：自治会の活動では、どのようなことに取り組んでこられたのですか？

渋川：以前はバラバラに保管されていた防犯・防災の道具を一箇所にまとめるため、都や市に働きかけて若草公園（ローラー公園）にプレハブ（備蓄倉庫）を設置しました。また、地域の犯罪を抑止するために、自治会としては調布市内でいち早く防犯カメラを導入しました。当時は窃盗が多発していましたが、設置後すぐに犯人の特定につながるなど、大きな効果を上げました。



### 【プロフィール】

渋川 弘（しぶかわ ひろし）さん

・国領自治連合会会長・柳会自治会前会長・調布地区防犯協会副会長・調布交通安全協会特別会員・調布市自治会連合協議会副会長兼安全対策委員長・調布市高齢者運転免許自主返納推進市民会議事務協・老人クラブ東寿会・八雲台小地区協議会運営委員・社会福祉協議会調布ヶ丘地域センターわくわく広場実行委員・深大寺表参道商店会相談役・商工会議所代議員・商工会議所第4支部幹事・調布市高齢福祉セカンドライフ検討委員



# 戦争が嫌い

## 地域の平和は「家庭の笑顔」から始まる

Q：活動が続ける上で、市との連携を図るためのコツなどあれば教えてください。

渋川：行政だけに頼るのではなく、地域の議員さんと協力することです。道路の改善や信号の設置など、現場の声を議会に届けてもらうことで、動きが早くなることがあります。何より大事なのは、相手も同じ人間として向き合い、人間同士の付き合いを大切にすることですね。

### 【信念と未来への願い】

#### 「いつでも動けるように」

##### —— 作業服に込めた覚悟

私は、不動産業を営む一方で、会議の場などでも常にこの作業服を着ています。これには理由があるんです。かつて建設現場の監督をしていたとき、移動中に事故や災害に遭遇したことがありました。スーツではすぐに対応できませんが、作業服なら現場に駆けつけて、すぐ動くことができます。

地域の安全を守る者として、いつでも有事に備えていたいという私なりの覚悟なんです。

私がなぜここまで活動が続けているのか。その根底には「戦争が大嫌いだ」という強い信念があります。地域の安全対策を一人ひとりが意識し、積み重ねていくことは、巡り巡って平和につながると確信しています。

今の子供たちには、もっとのびのびと、子供らしく過ごしてほしい。そのためには大人の責任も大きいと感じています。

最後に地域の皆さんに伝えたいのは、「家庭の中で喧嘩をせず、思いやりの心を持つこと」です。家庭が平和であれば、地域とのコミュニケーションも円滑になり、それが未来の平和な世界へと繋がっていきます。これからも、皆さんと一緒に笑顔の絶えない、安全な街を作っていきたいですね。

インタビュアー：千坂(真)・江端



## 花壇清掃

6月5日（金）八雲台小学校南側の甲州街道沿いにある花壇と歩道の清掃を行い、5・6年生の美化委員と一緒に、マリーゴールド、サルビア、日日草を植えました。

今回は、児童たちが自分たちで苗を植える穴を掘り、花の向きを考えながら、一株ずつ丁寧に植えました。

花壇や歩道をきれいに保つことには、「きれいな場所にはごみを捨てにくい」という心理的な効果（割れ窓理論）が期待できます。これからも、地域の皆さんが気持ちよく過ごせる環境づくりに取り組んでいきます。

## 古武術で遊ぼう & まち歩き

6月7日（日）「古武術で遊ぼう」日本人が培ってきた合理的な身体使いを日常生活に取り入れて楽しむ講座です。

ナンバ走りも、そのしくみを知ってから試すと面白く、そして楽に速く走れる気がしました。

「まち歩き」は、八雲台小学校の近辺を、地形や歴史などについて、解説して頂きながら歩いています。

今回は、厳島神社から深大寺用水西堀の暗渠をたどり、立体交差工事予定区間となっている、京王線線路下をくぐり抜けて、アジサイの美しい菊野台緑道を野川まで歩きました。

今後の開催予定 10、11、12、3月の各第一日曜日 午前9時八雲台小学校体育館集合詳細は「市報ちようふ」に掲載いたします。（担当：梶井）



参加申込・問合せ 080-2242-9749

ガーディアン  
📢 キミもまちの守護者になろう！



**登録日**  
**まごじば**  
**モーニング食堂**  
**にて**

開催日はインスタやHPで  
確認してください

キミならどっちで参加する？  
えらべる2つのパトロールクエスト  
もちろんどっちもOK！無料で参加できます！

**見守りパトロール**

あそびバ横：16時集合

次の出動は、  
まごじば  
インスタを  
チェック！



**【いつでもクエスト】**

ソロで冒険！「デジタル・パトロール」

自分のペースで、まちの協力店をまわって  
ランクアップを目指そう！

- 1.登録しよう！「まごじばモーニング食堂」でIDを登録して、隊員の証「わんしょう」をゲット！  
※まごじばモーニング食堂に参加する必要はありません。
- 2.保護者とお店をまわろう！まちにある協力店や、パトロール中の大人が持っている「QRコード」をスマホで読み取ろう。
- 3.ランクアップ！スタンプがたまるとランクが上がるぞ！モーニング食堂で、景品と交換だ！
- 4.ランク：ルーキー → C級 → B級 → A級 → S級（伝説）

**【みんなでクエスト】**

みんなで探検！「学校あつまるパトロール」

ボランティアのリーダーと一緒に、  
みんなで学校のまわりを歩こう！

- 1.八雲台小学校あそびバ前に集合！決まった日時に学校へ集まろう。子どもだけ（小学生以上）でも参加OK！（ボランティアのパトロールリーダーが引率します）
- 2.紙の台紙（当日に配布）にスタンプ！パトロールが終わったら、その場で紙のスタンプを1個
- 3.お宝を選んでゲット！スタンプがたまると、景品と交換できるぞ！



主催：八雲台小学校地区協議会

協働：八雲台小学校PTA見守り隊

✉ magojiba.info@gmail.com

・ 一般社団法人まごじば

# 防災訓練



## ～まず自助（在宅避難）の心構えと準備を～

4月25日、「令和8年度 調布市防災教育の日・市統一テーマ訓練『避難所開設訓練』」が行われ、調布市教育委員会教育部教育総務課および調布市総務部総合防災安全課の皆さんとともに訓練に参加しました。訓練では、仮設トイレの組み立てをはじめ、災害時を想定したさまざまな体験を実施し、避難所運営への理解を深めました。一方で、八雲台小学校の避難所収容人数は、一時収容で3,848人、長期収容で1,924人、感染症対策を考慮した場合は478人とされています。しかし、大規模災害時には、避難者全員に十分な備蓄物資が行き渡るとは限りません。そのため、地域住民一人ひとりが「自助」の意識を持ち、自宅での生活が可能な場合は在宅避難を優先することが大切です。避難所は、延焼火災や建物の倒壊など、自宅での生活が困難な場合に利用する場所であることを理解し、適切な避難行動を心がけましょう。



防災で最も大切なのは「日頃からの備え」です。自宅での避難が難しい場合、まず近くの親戚や知人宅に避難するなど、あらかじめ家族で話し合っておくことも大切です。

「避難所へ行けば安心」ではなく、「自分や家族がどう行動するか」を普段から考え、必要な備蓄や連絡方法を確認しておくことが、いざという時の大きな力になります。今回の訓練をきっかけに、ご家庭でも防災について話し合い、日頃の備えを見直してみましょう。



第一小学校体育館



富士見台小学校廊下

令和元年台風19号  
避難のリアル

